

満60歳以上の方のための住宅融資保険付きリバースモーゲージ型住宅ローン
【リ・バース60】の利用実績等について
(2023年7月～9月分)

独立行政法人住宅金融支援機構（本店：東京都文京区後楽1-4-10、理事長：毛利 信二）が実施する住宅融資保険を活用したリバースモーゲージ型住宅ローン（愛称：【リ・バース60】）の2023年7月から9月までの期間の利用実績等についてお知らせします。

また、2023年9月末時点で、付保申請戸数（累計）が7,000戸を超え、付保申請金額（累計）が1,000億円に達したこと等、2023年上半期のトピックスも併せてお知らせします。

■【リ・バース60】の利用実績

	① 2023年7月～9月	② 2022年7月～9月	対前年同期比 (①/②)
付保申請戸数	413戸	474戸	87.1%
付保実績戸数	343戸	400戸	85.8%
付保実績金額	54.6億円	63.3億円	86.3%
取扱金融機関数 (期末累計)	87機関	83機関	104.8%

(注) 付保申請：住宅融資保険を付保するために、事前に取扱金融機関から機構に申請があったもの
(速報値であるため、過去の申請戸数を修正することがあります。)

付保実績：融資が実行され、住宅融資保険が付保されたもの

(お客さまが取扱金融機関にローンの借入申込みを行った後に付保申請が行われますが、融資が実行され、付保実績が計上されるまでに一定のタイムラグが生じることがあります。)

■【リ・バース60】の借入申込者の利用実態（2023年7月～9月に付保申請のあった案件）

項目	2023年7月～9月付保申請分に係る平均値または割合
申込者属性（平均）	年齢：69.5歳、年収：394万円
申込者属性（割合）	年金受給者（51.8%）、会社員（23.5%）、個人経営（8.0%）、パート・アルバイト（6.1%）、会社役員（5.8%）ほか
資金使途（割合）	注文住宅（33.4%）、戸建リフォーム（20.1%）、借換え（17.2%）、新築マンション（16.0%）、中古マンション（6.3%）ほか
資金計画（平均）	所要額：3,220万円、融資額：1,794万円、毎月支払額：4.1万円
利用地域（割合）	東京都（15.0%）、神奈川県（13.1%）、埼玉県（7.7%）、千葉県（7.0%）、兵庫県（6.5%）、大阪府（3.9%）、静岡県（3.6%）ほか
住宅または住宅ローンを必要とする理由（割合）	住宅が古い（47.5%）、住み替え（17.7%）、借換え（16.7%）ほか
利用タイプ（割合）	ノンリコース型（99.8%）、リコース型（0.2%）

■【リ・バース60】の取扱金融機関

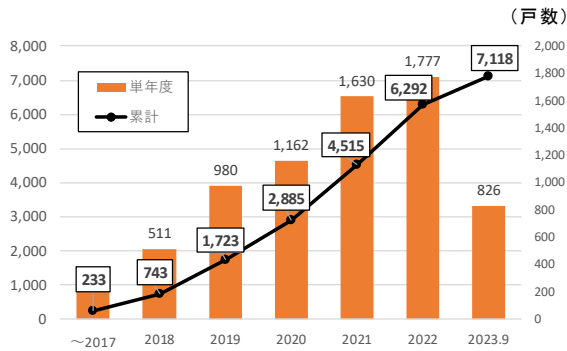
取扱金融機関については、機構ホームページをご覧ください。

https://www.jhf.go.jp/loan/yushi/info/yushihoken_revmo/kinyukikan.html

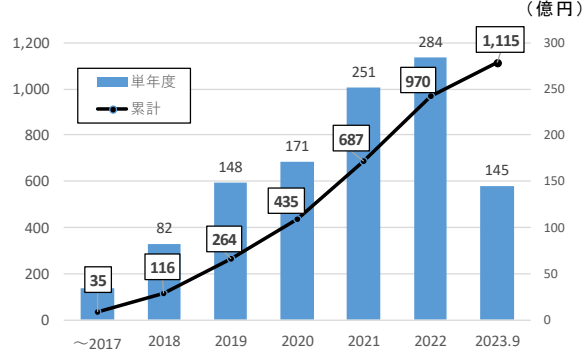
《2023 年上半期のトピックス》 (2023 年 9 月末 速報値)

- 付保申請戸数（累計）は 7,000 戸を超え、付保申請金額（累計）は 1,000 億円に達しました。
- 資金使途別では、前年同期（2022 年上半期）に比べ、主に注文住宅のシェアが増加（+3 ポイント）しました。一方で、新築マンションは特に大阪圏で減少し、全体で▲4 ポイントとなりました。
- 地域区分別では、前年同期（2022 年上半期）に比べ、主に地方圏（その他）が増加（+4 ポイント）し、大阪圏が減少（▲6 ポイント）しました。

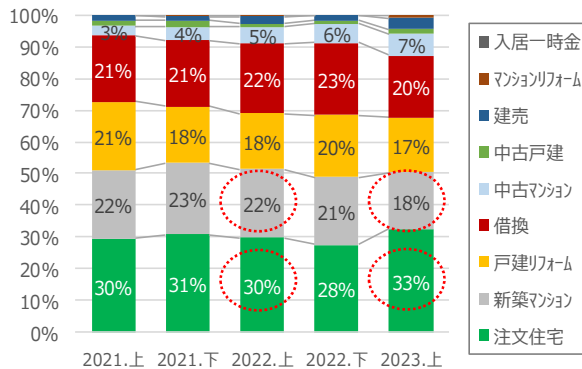
付保申請戸数の推移



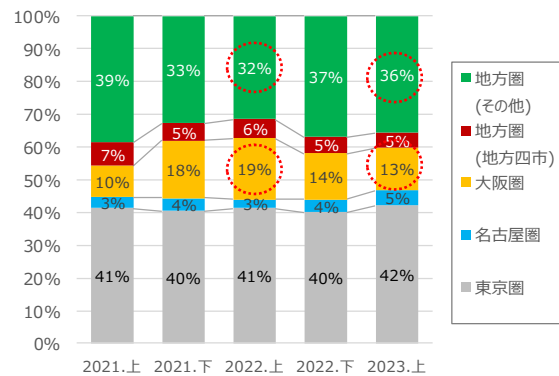
付保申請金額の推移



資金使途 (件数シェア)



地域区分 (件数シェア)



地方圏 (その他) : 三大都市圏を除いた区域で、地方四市を除いた区域
 地方圏 (地方四市) : 札幌市、仙台市、広島市、福岡市
 大阪圏 : 大阪府、兵庫県、京都府、奈良県
 名古屋圏 : 愛知県、三重県
 東京圏 : 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県

- 2023 年度上半期に新たに 2 金融機関が取扱いを開始し、取扱金融機関数は、全国で 87 金融機関となりました。

業態別の取扱金融機関数

都銀・信託銀等	8機関
地銀	30機関
第二地銀	14機関
信金・信組	28機関
労働金庫	3機関
モーゲージバンク等	4機関
計	87機関

新規取扱金融機関

- ・ 尼崎信用金庫 : 2023 年 7 月 20 日
- ・ 中国銀行 : 2023 年 9 月 25 日

本リリースに関するお問い合わせ先

住宅金融支援機構 経営企画部広報グループ 西村/谷山/中田/池森/濱野/甲斐 TEL 03-5800-8019

住宅金融支援機構ホームページ

<https://www.jhf.go.jp/>

(参考)

■【リ・バース60】の特徴(※1)

- 住宅金融支援機構の住宅融資保険を活用した金融機関によるリバースモーゲージ型の住宅ローン
- 満60歳以上のお客さまがご利用可能(※2)
- 毎月のお支払は利息のみで、元金は、お客さまが亡くなられたときに、相続人の方から自己資金等により一括してご返済いただくか、担保物件(住宅および土地)の売却代金(※3)によりご返済いただく住宅ローン
- 住宅の建設(建替え)、マンション・戸建住宅の購入(住替え)、リフォーム、住宅ローンの借換え、セカンドハウスの建設・購入、サービス付き高齢者向け住宅の入居一時金、子世帯等が居住する住宅の取得のための資金といった様々な住宅資金にご利用可能(生活資金や投資用物件の取得資金は対象外)
- 融資限度額は、担保評価額(住宅および土地)の50%または60%(※4)。ただし、8,000万円以下で、所要資金以内

- ※1 ご利用いただけるお客さまのご年齢、資金の使いみち、融資限度額、ノンリコース型およびリコース型の取扱い、融資金利、金利タイプ、取扱可能エリア、取扱金融機関における商品名称その他の商品内容は、金融機関ごとに異なります。詳しくは、下記の機構ホームページをご参照ください。
- ※2 満50歳以上満60歳未満のお客さまもご利用可能です。この場合、融資限度額が異なります。
- ※3 ノンリコース型の場合、担保物件(住宅および土地)の売却代金が残債務に満たないときであっても、相続人の方が残った債務をご返済する必要はありません。リコース型は残債務をご返済する必要があります。
- ※4 お客さまのご年齢が満50歳以上満60歳未満の場合は、「担保評価額の30%」となります。担保とする住宅が長期優良住宅の場合で、お客さまのご年齢が満60歳以上のときは「担保評価額の55%または65%」となります。

<お客さまからのお問い合わせ先>

【リ・バース60】ダイヤル TEL:0120-9572-60 (通話無料)

※ 営業時間 9:00~17:00 (土日、祝日、年末年始は休業)

<住宅金融支援機構ホームページ>

60歳からの住宅ローン【リ・バース60】

https://www.jhf.go.jp/loan/yushi/info/yushihoken_revmo/index.html



【リ・バース60】について詳しくはこちら

リバース60

検索